

令和 6（2024）年度ゴマサバ太平洋系群の 管理基準値等に関する提案

国立研究開発法人水産研究・教育機構並びに共同実施機関は、令和 6（2024）年度ゴマサバ太平洋系群の管理基準値等に関する研究機関会議資料の検討において、令和 6 年度以降の資源評価に必要な科学的パラメータについて議論し、以下の点を提案する。

適用する管理規則

「令和 6（2024）年度漁獲管理規則および ABC 算定のための基本指針（FRA-SA2024-ABCWG02-01）」（水産研究・教育機構 2024）で示された 1A 資源の管理規則を適用する。

管理基準値

- ・ 目標管理基準値は、SBmsy で 16.7 万トン
- ・ 限界管理基準値は、SB0.6msy で 5.4 万トン
- ・ 禁漁水準は、SB0.1msy で 0.7 万トン
- ・ なお、直近年（2023 年漁期）の本系群の親魚量は 7.9 万トンである。直近年の漁獲圧は目標管理基準値案を実現する漁獲圧（Fmsy）を下回る。

調整係数 β

- ・ 近年は低豊度の加入が続いているが、この状況が今後も継続した場合、 β が 0.4 以下であれば 10 年後の親魚量は目標管理基準値を 50%以上の確率で上回ると推定された。
- ・ 今後の加入が、過去に見られた平均的な強度で発生するとした場合には、 β が 0.9 以下であれば 10 年後の親魚量は目標管理基準値を 50%以上の確率で上回ると推定された。

その他

- ・ 再生産関係式には自己相関を考慮しないリッカー型関係式を適用した。パラメータ推定には最小絶対値法を用いた。使用したデータは、令和 6（2024）年度の本系群の資源評価で推定された 1995～2022 年漁期の加入量および親魚量である。
- ・ 目標管理基準値案での親魚量（SBmsy）で期待される漁獲量（MSY）は 7.2 万トン。
- ・ 本提案は調整係数 β を 1 から 0 の間で 0.1 刻みに検討した将来予測結果に基づく。